新京日日新聞
夕刊
十一月廿六日(日)
發行所 新京日日新聞社

明年度豫算を繞り
北鐵滿ソ間に又一と論爭か
局部交涉解決困難

【ハルビン廿五日發國通】北鐵問題の局部的滿ソ交涉は舊態依然として「進捗」せず暗礁に乘り上げた儘となつてゐたが、最近の雲行きで殆んど絕望視されてゐた一九三四年度の北鐵豫算會議が奇妙にも世間の豫想を根本的に裏切つて成立した、併しソ聯側首腦部は表面經費の節減と收入の激減を盾に執つて來年度の豫算に空前の縮少のメスを入れんとし、先づ滿人下級職員の馘首を斷行せんとする底意で居るが、滿洲國側首腦部はソ聯側の提示する收入の數字は人を瞞着する不誠意極まるものである事を看破して居るので鐵道從業員の淘汰の比例は滿ソ折半主義で押し通さんとの濟みがつちり固めて居るので主張と見解に多大の開きがあるので又一悶著は免れぬものと觀られてゐる、斯くて北鐵問題に關するハルビンの局部的交涉は又新に「論爭」の種が加はり豫算會議は波瀾を極めるものと解せられてゐる

北鐵沿線各縣の特別區制撤廢か

【ハルビン廿五日發國通】ハルビン特別市を除く北鐵沿線の行政警察は去る六月敎令を以て北滿特別區行政長官公署官制公布と共に去る七月一日より實施されつゝあるが、仄聞するに滿洲國の行政機構整備、司法制度の樹整等を近き將來に見んとしつゝある現狀より推して北滿特別區の行政司法權も將來に於ては當然滿洲國に歸屬すべく特別區の行政を存續せしむる根據薄弱であるので、これが特殊制度を撤廢し沿線各縣に分割編入するが妥當であるとのころより關係當局に於ては將來特別區制は撤廢されるものとしてこれが關係事項の研究に着手した

北大新總長 高岡熊雄氏

【札幌廿五日發國通】北大總長選擧の結果農學部長高岡熊雄氏が當選した

飛躍的發展を遂げる 北滿の對外貿易

【ハルビン廿五日發國通】我滿洲國との貿易關係國は概算十有余ケ國に達してゐるが、其內通商貿易の主位は一葦帶水の隣邦日本が占め、次が中華民國である、天津、上海、北平其他中華民國の南部地方よりの輸出入高は昨年一月より本年一月迄の年額は約一億圓(國幣)の巨額に達してゐる、第三位は獨逸との貿易關係であるが、本年十月一日迄の統計は輸出入額國幣五千萬圓輸內輸入額は三百萬圓(國幣)に達してゐる、英米との貿易關係も長足の進步を示しつゝあるが、主なる輸入品は石油、機械類、諸織物等であり、尚フランス、イタリー、ポーランド、チエツコスロヴアキヤ等との通商貿易も日進月步の躍進振りを示してゐる、かくて諸外國と北滿との通商貿易は異常の發達を遂げつゝある

滿蒙支歷訪 ブラタツプ氏

【東京廿五日發國通】アジア聯盟組織運動の主唱者たるアフガニスタン王族で印度革命志士マヘンドラ、ブラタツプ氏は滿蒙、西藏、支那各地に組織擴張の目的を以て壯途に就いたが、先づ滿洲國を振出しに蒙古、西藏、北平、漢口上海、福州、廣東の各地を歷訪し三月下旬再び來京する事となつた

新城博士 獨逸國名譽一等功勞賞を授與

【東京廿五日發國通】目下ベルリン滯在中の元京都帝大新城總長は多年日獨文化促進につくした功勞により今回獨逸政府は新城博士に獨逸國名譽一等功勞賞を授與した

松花江氷る

【ハルビン廿五日發國通】北滿も愈よ嚴寒季に入り、松花江も既に結氷し氷上の車馬の交通も開始され北滿特有の奇觀を呈するに至つた

關東廳辭令

【旅順廿五日發國通】
關東廳警部 井上定弘
命營口警察署長
新京警察署警部 今江米太郎
依願免本官
營口警察署警部 平光治二
命警察官練習所敎官
警察官練習所敎官警部 寺尾莊吾
命監察官附

滿洲の氣象施設に就て(二)

中央觀象臺長 後藤一郎

滿洲の北西部即ち蒙古に屬する地方では一年の雨量が四百粍に充たず三百粍にも足らない處もありまして、牧畜の外普通の農業には殆ど適しない程に、乾燥してゐる地方もありますが、又滿洲の南東部の奉天省吉林省方面では、六百粍或は七百粍を超え、雨天日數も百五十日位あつて稍分濕潤地方もあります

殊に滿洲氣候上の特徵とする處は冬寒い割合に、夏には溫度が充分に昇りますから、殆ど總ての農業に適することであります。一例を擧げると滿洲名物の高粱が北海道で出來ないのは全く北海道の夏の氣溫が充分に昇らないからと思はれます

雨の降り方及雨の分量等も地方によつて夫々非常な差違のあるものであつて、斯の如く滿洲の氣候は其の地方に依て著しく異なり、又季節に依て非常に變化に富で居ります爲に從來存在して居た僅かの氣象施設では、到底滿洲全般に亘る氣象を詳細に調査することは不可能の事であります。又氣象機關の特性として、施設すれば直ぐに效果の現れる事項もありますが、一面又氣候調査の如き可なり長い年月を經なければ其の效果の充分に現はれない事柄も澤山あります爲に所謂國家百年の大計を樹てるには、其根幹をなす所の氣象機關の充實を一日も忽にすることが出來ないと謂ふ見地よりしまして建國早々の際早くも此觀象臺の實現を見た譯でありますから其の使命の重要性に鑑みまして直接其の事業に携はる吾々と致しましては其の責任の重大なるを痛感し懸命の努力を致す覺悟で居ります

然らば今後觀象臺の爲さなければならぬ業務は何んな物であるかと謂へば大凡次の事項に分類することが出來ませう

第一は「一般生活に必要なる天候の豫測」であります日々或は時々刻々の天候の變化を觀察して其の豫測を新聞、ラヂオ信號等に依て一般公衆に周知せしめ、又暴風とか豪雨等異常の場合には臨機警告を與へて其に依て生ずべき災害を免れしめる、少くとも被害を輕減せしむることの必要なることは謂ふ迄もないことであります

第二は「航空に關する氣象」航空路上の天候豫想に依て航空機の發着並飛行をして安全ならしむることの必要なることは勿論であります

第三は「軍事に關する氣象」航空以外に例へば、此頃各地に於て行はれまする防空演習等で御承知の如く科學戰に氣象觀測が全く必要となつて來た事は晩近の新傾向であります

第四は「農業氣象」各種農產物の品種改良とか農業の科學的經營法の基礎を與へ或は大規模の水利灌漑事業等は一に掛て氣象と農業との相關に俟たなければなりません

第五は「森林氣象」森林と氣象とは密接の關係あるもので、惹いては治水の根本方針は森林氣象の精査に俟つ所が多い

第六は「資源開發に必要なる氣象」科學的施設を要する企業は、氣象の諸要素が判らなければ計畫遂行する事が出來ませぬ企業家をして安じて事業を計畫し投資せしめ、資源の開發を促進せしむる爲には氣象の正確なる統計調査が極めて重要であります、從て資本家をして滿洲國內の事業に投資を誘致する爲にも、氣象機關の整備は一日も忽にする事が出來ませぬ

日滿悲曲 生命線を行く (二十六)

(禁上演上映) 國友雄吉 (荒川芳三郎畫)

手紙と玩具

千瀬子夫人は、少し體の加減が惡いといつて、けふは居間に引籠つてゐた。

主人を失つたばかりの家の中は、只何となく、ひつそりとして靜まり返つてゐた。

伸一はいま、滿洲里の妻子のもとへ、手紙を書いて、別に茂彥へは、滿洲里あたりでは珍らしい玩具を包にして、それを郵便に出して來たところだつた。

東京へ來てから、これで三度目の便りを、彼は妻に送つた。

第一回は到着の知らせ。第二回は、父の死を知らせる悲しい便りであつた。

父の死を聞いた時、市子はどんなに失望し嘆いたであらうと、彼は、今でも猶、妻を憐んでゐる。父に會ひたいといふこと、茂彥をして、早く、祖父と孫との名乘をさせたいのが、出產以來、長い間の彼女の希望であつた。それがもう、絕望となつたのだ。

そして、今日送つた、第三回目の手紙の中には、彼は、こんなことを書いた。

「近いうちに、いづれ一度は歸る。歸つてそのまゝ、滿洲里に留まるか、それとも、再び、東京へ引返して來るか、その邊は、まだ決してゐない。しかし今度歸つたら、もうおまへたちには、二度と、淋しい思ひをさせはしないから――」

伸一はいま、郵便局から歸つて來てひとり佛間で、滿洲里のことなど、思ひつゞけてゐた。玩具を得て喜ぶ茂彥の顏が、彷彿として浮んで來た。

彼の後に、立派な佛壇があつた。その佛壇には灯しが搖らいで香煙が流れてゐた。

そこへ、久彌がはいつて來た。

伸一の顏に、この頃ひどく窶れが見えて來た。久彌は、しきりにそれを苦にしてゐた。今日は幸ひ誰も居ないので、いろ〱兄の氣持を知りたいと思つた。

「兄さん、何處か、惡いんぢやないんですか」

「どうして?」

「顏の色は善くないし。元氣もありませんね」

「別段、健康に異狀なしだ。只どうも、心が寂しくつていけない」

「さうでせう。六年振りでお父さんに會つて、すぐに別れてしまつたんだから――今度はもう、お父さんに會へる樂しみを、永久に奪はれたんだから――」

「久彌! もう、その話は止しておくれ。氣持が滅入りさうで、それで無くてさへ、僕は、堪らないんだ」

「あゝ、さうだつた。こんな話は止しませう――滿洲へ手紙を出したんですか」

「坊やに、玩具を送つてやつた。やたらに坊やの顏が見たくなつたよ。一度歸つてやらないと、時節いつ支那式の暴動が起らないとも限らんから――」

「僕も會ひたいなあ。姉さんは、きつと縋しい親切な人だし。坊やは、可愛らしい子供に違ひない。」

「――でも、歸るといつたつて、そんなに急の話ではないんでせう?」

「なるたけ早く歸りたいと思つてゐる」

「歸つても、又直ぐに、姉さんと坊やを連れて、戾つて來るんでせう」

「さあ――? どうなるだらう。いまのところ、まだ決心が付いて居らん」

「お父さんが亡くなつたんだ。兄さんに、歸つて貰はなくつて、どうするんです!」

さういつた弟を、伸一は、思ひありげに、ぢつと見やつた。

「さうだ。今日は、ちようど好い機會だ。僕一度、おまへに話さうと、思つてゐたんだ」

久彌は、兄の顏を見た。不安さうな眼であつた。

伸一は言つた。

「改めて、僕の頼みなんだ。ねえ久彌、おまへ、兄さんに代つて、氏家の主人になつて貰はなくちやならないよ」

「兄さん! 駄目だ! 厭です。僕は厭だ!」

「まあ、僕の言ふことを、よく聞いておくれ」

兄は、邪魔する弟を制した。

第八次私的會商で會議の前途有望化
印度側廿八日の本會議に代案提出か

【デリー廿五日發國通】印度側の申出に依り開かれることゝなつた第八次日印私的交涉は廿五日午前十時より日本代表の『宿舍』たるミーヅンス、ホテルに於て澤田代表とボーア代表の間に開始され兩氏は十二時迄前後一時間半に亘り種々意見の交換を行つた、席上ボーア代表は愼重を期する爲に凡ての點に就き詳細なる質問をしたいと前提して日本側の最終提案中不明の個所を逐一質問し之に對し澤田代表は前回の要求を繰返し敷衍して其の眞意を一層明確にし日本政府の國內に於る苦しい立場を述べて條理を盡して說明を爲し之をも容れなければ全般的に重大結果を招來するやも知れないことを仄かした、就中澤田代表が最も力を入れた點は品種別の問題で、殊に晒布の日本よりの輸入は近年二割にも達して居り、印度にはその見る可き成案なきにも拘らず、之を八分に制限せんとするは產業保護の精神に反するものである、何の爲めに斯る制限を爲さんとするか諒解に苦しむと辛辣に『急所』を突込み、斯くの如き確然たる品種別がなくては到底圓滿な取引は不可能でありこのことは世界各國の等しく認むる處であらう、この外の全部の項目に就いて日本は難きを忍んで大讓步をなしたものであるから、この品種別を基礎として圓滿なる取引の出來るやう一割の融通性を認むる事は是非必要で、之は決して不可能なる要求ではないと力說した之に對しボーア長官は、御趣旨はよく諒解した旨を答へたが、印度の憂ふる點は現在の日本案による時は短期間に大量の輸入を爲すことゝなり、之によつて市場が攪亂されるといふ點にある樣である、從つてこの點に關し形を變へた代案を出して來るものと觀られて居るが、結局ボーア長官はボムベイ、マドラス、カルカツタの當業者及デリー當業者をも參加せしめて協議した上廿八日本會議を開き回答する旨約して辭去した、之によつて觀るも印度側にも充分誠意あることは認められる譯で日本案をそのまゝ『受諾』するには尙難色があるが日本の意見を根本的に翻さんとする意圖もなく形を變へたもので兩者の一致點を發見せんとするものゝ如く、果然會商の前途有望視されるに至つた

佐藤武田兩中將の轉補 來月十日附發令

【東京廿六日發國通】參謀本部附佐藤三郞及近衞師團司令部附武田秀一兩中將の〇〇司令官轉補は、一般と切離し來る十二月十日附で發令される事に決定した

日本品阻止案を下院に提出せん

【ロンドン廿四日發國通】日本品の全面的進出に悲鳴を擧げてゐるランカシア綿業界は一方日印協議會に依り日本品の輸出統制を圖ると同時に立法手續により日本品の進出阻止を期する方策を廻らしランカシア選出保守黨議員アロクター少佐等を中心にランシマン商相に進言する等、種々對策を練つてゐたが愈よ來る廿九日の下院にマンチエスター選出保守黨議員フラーがランカシア綿業界の利益を代表し思ひ切つた、日本品進出阻止動議を提出する事となつた、右動議要旨は次の如くである

一、日英通商協定を廢棄する事
一、高率關稅又は輸入禁止に依り英本國に於る日本品の競爭を制限する事

而して右動議提出に際してはランカシア選出の下院議員悉く之を支持するに決したと

【大阪二十五日發國通】紡績輸出棉花の綿業三團体聯合特別委員會は二十五日綿業會館で開催左の項目を發表した

廿一日の提案から一歩も讓步せぬ
綿業聯合會が倉田代表へ外務の意向を打電

小阪理事より二十四日外務省訪問二十一日の日本代表の提案は絕對的最後案としてこれ以上斷んじて讓步せぬ決心であるとの說明をなしたる旨報告あり、右に關し協議の結果倉田代表に外務省の說明を詳細に傳ふると共に此の際最後の努力ありたき旨打電した

豫算の貫徹に
海相職を賭す決心 いよく問題は複雜化

【東京二十五日發國通】海軍省の豫算復活交涉は二十五日午前荒木主計少將より大藏省へ豫算明細書を提出したので事務折衝は幕を閉ぢ愈よ高橋藏相對大角海相の政治的折衝に入ることになる譯であるが海軍側は國際危機を前にして一億三千萬圓の復活要求は絕對的とし、大藏省の單價切下げに反對し斯かる狀態では國防保全の責を果し得ずと稱し海相を鞭撻して居り之れがため大角海相は進んでは高橋藏相との正面衝突することになり退いては海軍部內の不信を買ふ譯でヂレンマに陷り職を賭しても非常時要求を貫徹するとの決意を固めたものの如く成行注目されて居る

海軍再査定裁斷如何で
閣內に不統一を來す

【東京廿六日發國通】復活要求の折衝で大藏省では最も難關たる海軍省の復活要求を眞先に解決せん事を期し、海軍當局に對してぎりぎり決着の最後案を提出せられたき旨要請したので、海軍では二十四五兩日に亘り省部間で愼重審議の結果二十五日夜主計局に對し最後案を明細書を以て提出した、依つて主計局では二十六日更に海軍當局との間で一應事務折衝を重ねたる後、同日中に赤坂の藏相私邸で大藏省議を開き藏相の政治的裁斷を求むる筈である、尙藏相が事務部の復活要求に對し如何なる裁斷を下すかは第一次査定の裁定に比し遙に重大なる政治的意義を有し其結果如何によつては閣內の不統一を來すやも保し難いので藏相としては裁斷の內容如何により月曜日頃齋藤首相と會見する事となるであらうと觀られてゐる

陸軍の要求縮少
大藏省との折衝圓滿解決か

【東京二十五日發國通】陸軍當局は一億七百萬圓の復活要求をする事に決定したが國家財政の現狀を考慮し、七千萬圓に縮少し二十四日小野寺經理局長は藤井主計局長と會見して諒解を得たので、二十五日も引續き折衝してゐるが此結果、廿七、八兩日中には大藏省との間に圓滿解決を告げるものと觀られてゐる

ソ聯大型飛行機墜落
搭乘者十五名慘死す

【ハルビン廿五日發國通】モスクワ來電によればソ聯が世界第一の大型飛行機を以て誇つてゐた飛行機K七號はハリコフ附近に於て機体に故障を生じた結果遂に墜落木葉微塵に粉碎搭乘者機關士スチギレフ、飛行機製作工場技師ジエロンキン、民間航空會長リツパ、機關士ウラソフ、同パルイシユコフ、同コノメンコ、技師シクロフスキー、同ザレツキー技師部監督部長バフチンスキー、アマチユア飛行機製作工場秘書リマンスキー、ピラーシ、ザイツエフ、フレチンスキー、サルネー等十五名は慘死した旨この程發表された、右飛行機墜落原因調査のため審査委員會が設けられ目下眞相調査中である、尙飛行機は二ケ月前に製作され機体全部は鋼鐵製で旅客室は兩翼內に設けられ、飛翔中機体內で散步も出來る設備もあり全く近代科學の粹をこらしたもので、飛行士、同機關士を除き旅客百廿九人乘りの大型飛行機であつたと

社員會の改組案近く脫稿

【大連廿五日發國通】滿鐵社員會は改組問題に就き社員會案の作成を急いで居るが近く成案を得る見込である、成案の上は八田副總裁からの希望により適當の時期を見て重役會に提出する事になつてゐる該案は大綱的なものに止めてゐるが、金融資金問題に就ては相當愼重な研究を續けて居る模樣である

徒步匪賊

去る二十一日午後七時頃四十街東北方約二十三滿里仙馬泉村居住の王椿陽方に系統不明の徒步賊五名侵入家人を脅迫の上大洋二十三元毛布二枚、金製耳飾二個合計時價八十四元を强奪南方に向け逃走したと

皇軍の御努力で治安は全く恢復した
三浦吉林省公署總務廳長談

所管事務打合せの爲入京中の吉林省公署三浦總務廳長は語る

吉林省は他省に比し一帶に匪賊の跳梁甚だしく省內の治安も常に『攪亂』され住民の不安募つてゐたが、日本軍の絕大の援助殊に過般の間島方面の討匪行により匪首ともみらる可きものは續々殪され、最近に至つては劃期的に治安が維持されるに至つた事誠に喜びに堪えない、省民と共に其衝に當つて戴いた日本軍部に對し深く感謝の意を表する次第である過去の吉林省は行政的に見ると殆んど未開の地であつたとも云ひ得られやう從つて文化の程度も遲れ產業の開發もこれからと言ふ處である地方行政に就ては未だ取立てゝ言ふ程の事もないが色々の事情から成る可くは舊慣を維持して徐々に進步發達を遂げたいと思つてゐる、從つて縣參事官屬官の如きも成る可く少數の日本人を採用して指導に當らしむる事としてゐるがまだ多數の縣にはその『配置』もしてゐない然し省內一般の空氣よりすると此の一個年間で日滿人の融合は益々向上し、一般に治安の成績大いに見るべきものがあると信ずる、產業政策に就ては從來治安第一主義で進んでゐたので特筆すべきものもないが、來年度豫算では積極的に經費も計上し補助金や復興資金の融資或は金融組合等の設置を行ひ、治安第一より產業第一に邁進する事になると思ふ、文化的施設に於ても電信電話の通信施設を始め電燈、上下水道等も漸次合法的に擴充し整頓さるる日も遠くはあるまいと信ずる、殊に吉林、新京間の產業道路の完成、人口激增に伴ふ市區改正計畫、或は第二松花江岸道路と吉長國道との接續による吉長の距離短縮等大に面目を一新する事と思つてゐる、尙吉林が學都或は『水都』としての將來は益々囑目さる處で山河の美にして空氣淸く將來國都塵を洗はんとする國都人の唯一無二の慰安場所たるべく益々兩都の關係は頻繁となるだらう云々

ソ聯チタに大飛行場建設

【ハルビン廿五日發國通】當地に達した報道によればシベリヤ、ウラル方面よりチタに至る間の軍需品を滿載したソ聯赤軍の軍用列車が各地にあり、又バイカル湖以東には赤軍が增員され、チタ方面では廣大な飛行場を建設中である由である

ソ聯外蒙方面に鐵道敷設か

【ハルビン廿五日發國通】當地に達した情報によればソ聯は外蒙の積極的赤化政策遂行の見地より目下赤軍の鐵道隊を以て外蒙方面に鐵道敷設中であると報ぜられて居る、右鐵道は軍事上重要な意義を有するものであると

日滿土建協會愈よ創立

創立二十五周年を迎へた滿洲土木建築協會は奉天及び新京に分館を設立し二十五日新京ヤマトホテルで記念式を擧行し引つゞき日滿土木建築協會發會式を擧行した定刻午後四時ホテル大廣間に會員ならびに來賓着席、榊谷會長の式辭次で菱刈司令官の祝辭を小磯參謀長代讀、それより鄭國務總理代理、臧民政部總長代理、張實業部總長代理、滿鐵副總裁代理、金新京市長代理、大村關東軍交通監督部長の祝辭があり又林滿鐵總裁以下の祝電を披露し式を終つたが、祝宴の開かるゝ迄大村交通監督部長、高橋實業部總務司長、竹內民政部總務司長の感話があり、定刻六時食堂に入つたが、デザートコースに入り榊谷會長の挨拶があつた後、大村氏謝辭を述べそれよりまた來賓ならびに會員の感話があり、日滿土木建築協會の萬歲來賓の萬歲等を唱和し盛會裡に七時半頃散會した

來る一日革命政府大祝賀會擧行
第二次全体會議で決定

【福州廿五日發國通】福建獨立政府中央委員會は第二次全体會議に於て左の通り決議した

一、年號は中華共和國元年とす
一、十一月二十日を革命政府成立記念日とす
一、十二月一日を期し革命政府成立祝賀會を擧行す
一、李濟深氏以下十二名の軍事委員を任命
一、戴戟氏を全体委員會首席に任命
一、何公敢氏を福建省長に任命
一、財政部長に蔣光鼐氏を任命し、同次長に許錫清氏を任命
一、人民革命政府最高顧問に薩鎭氷氏を任命
一、公務委員の服裝は農民勞働者を以て標準とす

羅文幹氏 遂に辭表を提出

【南京廿五日發國通】前外交部長羅文幹氏は二十六日正式に辭表を提出した、氏は曩に新疆省に赴きその間外交部長の職は行政院長汪精衞氏が臨時に代理として現在に及んだが氏の辭表提出に依り羅文幹氏は愈よ外交部を去るものと觀られる

福州厦門二港に水雷を敷設

【厦門廿五日發國通】福州及厦門當局は各汽船會社に對し右二港の入口に水雷を敷設し敵艦の侵入に備へた旨通告した、尙當地招商局其他支那側汽船會社は沈沒を俱れて福建への寄港を中止した

南京政府 福建省の經濟封鎖斷行

【上海二十五日發國通】南京政府は福建省の經濟封鎖を爲すため二十五日より海軍の出動を開始した

在福州領事團 不干涉主義を標傍

【東京廿五日發國通】在福州の守屋總領事より外務省へ發せる公報に依れば同地領事團は去る二十三日守屋領事司會の下に英、米、佛等各國領事出席し、次の如き福建獨立政府に對し不干涉態度を採ることに決した

一、福建獨立政府成立に關して各國側何れも確かなる情報無き故其の內部問題に對し何等の關係を有せず
一、新政府が若し今後鹽稅を差押へた場合にも條約に違反せざる限り領事團としては何等積極的態度を執らない
一、郵便保管權に就ては外國に關係せざる限り總べて國內問題として新政府に干涉せず

十月中に於ける全支貿易統計

【上海廿九日發國通】發表に依れば十月分の全支貿易統計は左の如し（單位千圓）

輸入	九五、四四五
輸出	四七、九七四
總計	一四三、四一九
入超	四七、四七一

即ち輸入は九月に比し五、六〇五、輸出は同六七六と引縮み減退を示して入超額は九月に對し一割五分見當增加して居る

人事往來

▲廣瀨中將（第〇〇師團長）二十五日午後四時敦化より來京滿洲屋旅館投宿
▲本田高等課長（關東廳）同日午後三時二十五分哈市より來京二十六日午前九時南行
▲山口主計中佐（旅順要港部）同午後四時二十分新京發南行
▲藤森海軍大佐（駐滿海軍參謀長）二十六日午前九時奉天へ
▲永谷光太郎氏（滿鐵顧問）二十五日午後七時三十分來京ヤマトホテルへ
▲立石發氏（奉天隅田町北票煤礦公司）同日午後七時來京ヤマトホテルへ
▲大野正氏（滿鐵旅館事務所長）二十四日午後七時三十分來京ヤマトホテルへ
▲井上秀雄氏（同營業長）同上

新社宅街へも滿電バス運轉
料金はやはり五錢均一で 愈よ近日中に實施

滿鐵新代用社宅四百戸の引越しも既報の通り大体本月中に終る見込だがこれが唯一の交通機關として滿電バスの運轉も滿電側では既に準備全くなり、一兩日中にその筋の正式許可を受け遲くも來月一日までには

『開始』されることゝなつた。地方事務所住宅係としては午前七時から午後十時までと要望してゐるが滿電側でも出來るだけ居住者の希望を容れたい意嚮で午前七時半から九時まで午後四時から六時までのラツシユアワーには特に乘客の混雜を防ぐため四台、その他の時間では二台又は三台を運轉すべく五分乃至六分置きに發車することゝなつてゐる、車体も普通市內の二十六人乘りよりも大型で

『最新』式の卅六人乘りで滿電支店を起點として驛から水道タンク、守備隊前を經て新社宅街の流星町から興安通りに至るが前記各箇所にはそれぞれ待合所を設け流星町、興安胡同は乘客の指圖によつて何處でも乘降出來ることゝしてゐる、料金は市內同樣片道五錢均一でなほその後の成績如何では通學兒童のため回數券定期券も發行されることに住宅街から交渉が進められてゐる

消費組合其他 早くも店開き
これで何不自由はない

別項、滿鐵新社宅街へのバス運轉によつて交通の不便は免れることになるが、居住者として第一に必要な買物としては消費組合花園分配所が既に開設されるに至り、倶樂部機關としての社員倶樂部では柔劍道を除く屋內各種遊戯、食堂

『賣店』理髪所まで悉く準備され、警備の警官派出所も新京署へ再三交渉の結果漸く滿鐵から社宅二戸を提供して一は派出所(白菊町派出所)に一は警官住宅として遠藤巡査ほか一名が當ることになつたがいづれ定員四名に増加されるはずで、郵便所は來年度に出來るが既にポストだけは出來上り更に衛生機關も設置さるべく目下それ〲交渉中で、新設第三小學校も既に基礎工事に着手し來春解氷期に入るとゝもに早急着手されることになつてゐるから來年度の各道路完成(現在白菊町の大通のみ完成)とゝもに一大

『住宅』街としての要素が全部備はるわけである。なほ最も心配されてゐた上水も國都建設局から一日二百トンの給水を受けることになり、また電話の取付も本年中には間に合はねば社內線に接續してでも年內に工事を終る見込である

狂つて 井戸へ飛込む

市內吉野町六丁目二〇七番地徐夢九氏方居住山東省生温廷芝(二四)は精神に異狀をきたし二十六日午前三時ごろ附近の井戸に飛込み自殺を計つたのを夜警員(吳鳳鴻氏)が發見し隣家の者を呼び起し救助したが遂に絶命した原因は厭世自殺である

米屋へ 三人組强盜

二十五日午後五時ごろ市內三笠町四丁目十五番地精米業四隆號こと金道根氏方へ三名の滿人拳銃所持の强盜が押入り內一名は戸外で見張し一名は金に拳銃を突付け脅迫し一名はその間帳場內に置いてあつた手提金庫一個在中金票國幣取混ぜ二百三十圓を强奪し賊は暗にまぎれ逃走した急報に接した新京署では直に全署員の非常召集とゝもに刑事隊は現場に急行し犯人の人相並に逃走經路に就き調査し目下犯人捜査中である

輜重兵二名負傷

〔奉天二十五日發國通〕二十四日午後六時五十分頃關東軍〇〇〇隊輸送の臨時二六〇三列車が奉山線石山站、羊圈子間を進行中突如數不明の匪賊の襲撃を受け、輜重兵一等兵藤田定憲、同熊田穎盛の兩氏は負傷した、尙同列車は無事錦縣に到着、右兩名を直ちに野戰病院に收容した

今年の門松は 高くなるらしい
稅關々係などで

霜月、師走、その霜月も殘り少なく、師走に入ると人の心も自ら引締つて來る市中の商賈は暮から正月へかけての必需品がボツ〱荷が着いてゐる模樣である

『毎年』この季節に入ると行はれる藏ざらへの大賣出しを始めた店もある冬の日の短い關係とあるが、年の瀨に近寄るとその日の明け暮れの慌しさ何の屈託の無いものは松飾りの噂さへしてゐるくらひである、この正月の門松飾りはこれまで永年新京聖德會で請負て居り今年も勿論同會員の手で行ふことであらうと赤羽會長に電話で問合せたところ豫想の通りで既に內地の材料品に引合ひ中であるとの答、また稅關々係などで去年より材料高であるけれど請負値段は前年と變へぬ方針であるとの事

『來月』に入ると會員が手分けで注文を貰ひに歩くからよろしくお願ひするとの事であつた

飛行隊地上勤務員 廿五日夜凱旋

吉林省討匪行に地上部隊と協力し空の威力を示した新京駐劄飛行第〇〇〇隊の地上勤務員富所中尉以下〇〇〇名は廿五日午後九時十五分官民多數の出迎へを受けて新京に凱旋何れも元氣一杯で堂々原隊に歸還した

街の日記

ラジオ講座 愈よ廿八日から

來る二十八日から三日間滿洲電氣協會主催、滿電、新京放送局の後援で新京高等女學校でラジオ講座を開催す、講師は新京放送局長加藤誠之氏である、氏を訪へば

これは寧ろ私の方から進んでやるべきことゝ思つてゐた矢先滿洲電氣協會の方から頼まれた、聽取者並びに一般に對してサービスの意味において具体的に講義をすゝめ又個人的にも質問に應じます

と、なほ講義は毎日午後四時半から、六時半までで申込は滿電、滿洲電氣協會の二個所で料金五十錢である

井上警部 普蘭店署長に

關東廳新京出張所の井上警部は今回普蘭店署長に榮轉近く赴任するが同警部は非常に碁を好む人新京署三橋兵事主任とは碁の好敵で朝三時四時頃までコワンコワンとやり大辭はりあけて戰ふなど御兩人はあまりに有名だつたが三橋氏の惜い人を去らしたと感慨無量であらう

野球選手慰勞會

新京野球倶樂部では廿五日午後六時から料亭開花で本年度選手の慰勞會を催し牧島、宮城、川越、伊東の各幹事はじめ選手十四名出席本年度の追憶に花を咲かし更に來年の勇躍を期して極めて盛會であつた

吉林藝妓の 常磐津會 明夜長春座で

吉林の藝妓で常磐津長太夫の教をうけてゐる連中、新京の舞台を踏んでみたいとの念願をかくれたる後援者があつていよ〱具体化し明二十七日長春座を借つて先づ書間は軍隊慰問をやり夜は新京の粹人連の批判を仰ぐことゝなつたは既報の通り番組は盡代とも常磐津新曲松の羽衣同將門同小夜衣千太郎道行、同久八意見、お染久松堤場、同お光物狂ひ、それに新京花街の應援でやよい連中の長唄鶴龜、千鳥連中の長唄供奴、千鳥連中の淸元三社祭り等華やかな舞踊が加へられることゝなつたのでいよ〱人氣を煽りつゝあるから、いよ〱開演したらすばらしい盛況を呈することであらう

盜難屆

▲高砂町□丁目六番地八山芳太郎方鈴木久藏氏方へ二十五日午後六時より同十二時に至る間賊は窓硝子を破り侵入し赤皮製大型トランク一個、在中品恩賜の煙草入一個、軍隊手帳一、衣類九點三十圓、置時計一個十圓を窃取された

▲日本橋通五十五番地雜貨商澤山隆太郎氏方所有自轉車一台時價三十圓を廿五日午前十一時ごろ自宅前で窃取された

▲露月町滿鐵社宅寮六十六號居住長與次郎氏所有のオーバー一着時價四十圓を二十二日午後八時ごろ西公園の池番小屋においてあるを窃取された

國難打開內閣打倒 國民大會開く
田中光顯伯も演壇で獅子吼

〔東京廿五日發國通〕愛國主義七十團体を包含する國体擁護聯合會では現齋藤內閣の存在は目的貫徹に一大障碍なりとし非常時突破國難打開大會を廿五日正午より芝公園に開催し田中光顯伯も演壇に立つて氣勢を擧げ、午後四時散會した

十名の訓導 學校から引致 青森の教員赤化

〔青森廿五日發國通〕去る十一月青森縣下の赤化教員の檢擧に次で二十五日又も赤化教員の大檢擧を行ひ師範教授早大出身の原勝外十名の訓導を學校から引致しなが、尙數名檢擧を見る模樣である

大連で暴露 兼井金福支配人 演說會開催

〔大連廿五日發國通〕金福鐵路支配人を被免された兼井鴻臣氏は廿六日午後一時大連敷島町青年會館で被免問題をめぐる眞相の暴露演說會を開催すべく大連署に開催屆を提出した

島德藏氏 收容さる

〔大阪廿五日發國通〕關西財界の巨頭島德藏氏は午前八時過ぎ密かに檢事局に出頭し岡本檢事の取調べを受けたが流石財界の惑星も法の前には降伏し今夕收容される筈であるが島氏は今朝代理人を通じ私財提供の證書を其筋に提出した、提供の內容は內地朝鮮の土地建物一切である

午後四時五十分 收容

〔大阪廿六日發國通〕島德藏氏は私文書僞造、業務上横領の罪名で廿五日午後四時五十分大阪刑務所に收容された

海底の金貨!

沈沒露艦の金庫を探つた人の直接報告記が「日の出」十一月號に發表された、近來の興味深い讀物だ

愛國思想同志會 發會式擧行

〔東京二十五日發國通〕渾沌として一定の國民思想なき日本の將來を憂慮すべき現狀に鑑み海軍中將東鄕吉太郎氏を會長とする愛國思想同志會は廿五日橫濱に盛大な發會式を擧げた、第四十九聯隊長手塚大佐の宣言あり非常時日本全國に愛國思想を以て呼びかける事になつた

ランプソン公使 令姪等重傷

〔上海二十五日發國通〕昨朝當地龍華飛行場を出發した上海廣東間定期飛行の處女飛行に上つた旅客機は乘客七名を乘せ上海を去る約五十哩の海上東船山群島岩壁に激突し乘客の駐支英國公使ランプソン氏姪カーリス孃、福州米國領事レイノルド氏外獨逸人一名重傷を負つた

廣瀨神社を 大分縣に建立

〔東京二十五日發國通〕旅順港閉塞戰に壯烈な最後を遂げた軍神廣瀨中佐の銅像は神田に在るがこの英靈を祠る神社がないので今回郷里大分の有志及び當時決死隊の總指揮官明治神宮々司有馬大將、東鄕元帥等が發起人となり大分縣竹田町に中佐の功績を永久に傳へる英靈を祠る廣瀨神社を建立することゝなつた

首相私邸に 暴漢闖入

〔東京廿五日發國通〕廿五日芝公園に於て齋藤內閣打倒の國民大會が開かれ、首相私邸は特に嚴重に警戒されてゐたが、書頃警戒線を突破して暴漢闖入し、玄關目がけて墨汁壺を投げつけ逃走せんとしたが捕へられた、犯人は岐阜生れ大下健二(四二)で、懷中には首相宛の激越な辭職勸告狀を所持してゐたと

反戰會議支持 協議會の 全貌暴露

〔東京二十五日發國通〕警視廳では「極東平和の友の會」の加藤勘十氏以下十數名を共產黨の嫌疑で取調べの結果計らずも上海反戰會支持の無產團体協議會が組織されて居るのが發覺し、數日前より全國組織部長美術學校出の宮崎縣生れ高橋正藏(二四)を始めとし佐々木正二、濱田正夫を夫々檢擧し取調べを行つて居るが取調の進むにつれ反戰會議との關係も判明すべく注目されてゐる

警務指導官等十二名 行方不明となる
膽楡縣西方で匪賊に襲撃され

二十五日正午四平街署へ達したる急報に依れば二十四日午後七時三十分頃膽楡縣々警務指導官緒方貢氏以下十二名は同縣城西方四十滿里の地點に於て匪首五詳の率ゆる百四十名の合流匪賊團に猛烈なる襲撃をうけ全員行方不明であると(四平街支局發)

地方治安維持は
漸次滿洲國警察機構で

事變以來全滿各地の治安維持は主として皇軍の手に委ねられて居たが漸次治安の確保を見るに至つたので明春三月を期し各地に分散して居る軍隊を引揚げ其の任務を滿洲國側警察機構に讓ることゝなつたので民政部警務司では之に伴ふ警務制度の擴充を企圖し其の統制、警察隊の整備及人事對策を協議して居るが自衛團の刷新等が俎上に上つて居る

四洮線奧 大平川に 突如匪賊現はる

〔チチハル二十六日發國通〕二十六日午前一時四洮線沿線大平川驛西北方八支里の點に二千二百名の匪賊出現の報に接し大平川守備隊より百餘名討伐に向ひ敵に多大の損害を與へたが我損害は戰死將校以下九名、負傷十一名、右急報により洮南より援兵急行した

韓穆精阿氏逝去

〔新京二十五日發國通〕興安總署囑託韓穆精阿氏は豫ねて腦病で奉天滿鐵病院に入院加療中であつたが、二十五日午前零時半逝去した、氏は東京外語、大阪外語等に二十餘年間教鞭を執り、日本政府より恩給交付の榮譽を受けてゐた程の日本通であつた、享年五十二歲

四平街
第八師範區教育 聯合會發表

奉天省教育廳においては教育の發展向上を計るため、梨樹、懷德、双山、昌圖、康平、法庫の六縣を管轄する教育振興改革の研究機關たる第八師範區教育聯合會設立計劃中の處去る二十一日午前十時より梨樹縣城內に於て各縣教育廳より督學科約八十名及教育關係者長森田良一氏出席の下にこれが發會式を擧行したが章程草案を起草左記役員を選定午後三時終了

會長 劉錫鋼
副會長 辛雨亭
評議員 五名
名譽會長 梨樹縣長、
顧問 各縣々參事官及教育局長

梨樹縣に民衆學校

梨樹縣教育局では去る二十一日より王道主義の建國精神を根據とし年長無學者に日常生活に必要の簡單知識を教授し技能を與ふる目的を以て縣下十九校に民衆學校を設け十五萬余の無學者に對し毎日午後五時より七時迄讀法、日語、珠算を無料教授して居るが卒業半ケ年の予定であると

郵便局員 大多忙

東蒙の玄關歐亞への最短經路四洮鐵路の分岐點としての大四平街郵便局で取扱ふ奧地四洮線齊克線方面に向ふ各種郵便物殊に小包郵便物の最近の激增狀況は驚くなかれ一月の平均實に千余個に上る有樣であつて局長以下全局員大童となつて不眠不休の活動を續けてゐるが一定の人員で制限なく增加の一途を辿る山なす郵便物さて涙ぐましい局員の働き振りは全く戰場往來の樣である

自働警報機の出現
强竊盜を完全に豫防する

匪賊、强竊盜の跳梁跋扈に日夜苦しむ滿洲人の最も苦心せるものは、此の兇惡なる魔手より如何にして脫し得るかにあるが、不幸にして今日迄に此の自働的豫知機の完全なるものがなかつた、今回須黑忠三氏の發明したSK自動警報機が滿洲國政府の商標權登錄の上新京日本橋通り大和洋行電氣部を本據として發賣せらるる事になつたのは、滿洲人に非常な福音であらう

該警報機を略說すれば、完備せる電氣裝置の配板が室內の一隅に置かれ、其の機械から數條の電線を以つて各出入口及窓等に備へられた自働スキツチに連續せられ一度び此の扉及窓を少しでも開けんとした場合は自働的に二十丁以上に傳達する非常サイレンを發し、該家屋に事件の起つたことを報知する仕掛けであるが書間の不必要時は共の個所に依り、スキツチ一個にて、自由に調整も出來又、申込みに依つては、附近の警官駐在所にも外線を連結すれば、自働的に坐ながらにして、訴への出來得るは勿論で裝置費も非常に低廉にして維持費を要せぬ特徵は發明者の最も苦心せる所である、目下商品作製中に付き到着次第實驗の上改めて滿洲人に紹介する

グリル披露盛宴

既報、斷然新京一を誇る豪華版扇芳亭のグリル開設披露宴は二十五日午後六時から開かれたが、來賓として地方事務所電局者始め二十余名出席デザートコースに入るや主人側の丁重なる挨拶に對し地方事務所山內地方係長一同を代表して謝辭を述べ盛況裡に同八時散會した

ラヂオ欄

二十七日(月曜日)新京
午後五時〇分 子供の時間 (奉天より)少年團のお話 笠泉 熊一
同 五時三〇分 ニュース(英語)
同 五時四〇分 ニュース(露語)
同 五時五〇分 ニュース(鮮語)
同 六時〇分 ニュース(東京より)
同 六時二〇分 (滿語)講師 語學講座 高宮 盛逸
同 六時四〇分 (日語)講師 語學講座 植松 金枝
同 七時〇分 演藝(滿語)南天門 艶春院 月紅
同 七時三〇分 講演(滿語)
同 八時〇分 ニュース、氣象豫報、番組豫告(滿語)
同 八時三〇分 時報
同 八時三一分 ニュース
同 八時四五分 ニュース、(東京より)氣象予報、プロエール
同 九時〇分 演藝 琵琶 扇の的 泉 旭春
引續き明日のプログラム予告
(追信)二十六日午後五時〇分
子供の時間次の如く變更す
一(イ)三部合唱、虫の音 (ロ)齊唱、田舍の冬 尋常五年生兒童
二、獨唱、冬の夕ぐれ 尋六、横山 政子
三、ハーモニカ (イ)君が代行進曲(二部) (ロ)オーエンタルキヤラバン 高等科生徒
四、四部合唱、凱旋 高等科生徒
五、兒童劇、興安の日東健兒 高等科生徒

慶安異聞 艶魔地獄

(舞上演・映畫化)　玉水三郎　(畫)長谷川小信

(百二)

唐犬の一考(一)

青山主膳は番町の邸にあつて、近頃は自暴自棄の姿。

用人井倉源太左衛門こそ好い災難で、朝から晩まで呼び附けられて、此一件に就いて責め立てられる。

『コリャ用人、あれ程まで加賀爪甚十郎に申附け、酒井伏幡守に渡りを附けたに、何故其儘に相成つて居るのか』

『ハツ、何分公事訴訟と申すと、何彼と暇取りまして、一向捗どらんものでございます。然し御前、最早小島三平並に一子十松は、揚り屋入りと相成り、大淀のお八重も名主預けと成つて居ります事故、最早程なく其罪も定まりませう』

『イヤ罪の定まるも、定まらぬもない事だ。召捕つて了へば、明らかに謀叛人の餘類ではないか。何も[illegible]事はない筈だ』

『さ、手前も左様に存じ居りますが、町奉行酒井伏幡守様が、斯く申すと失禮ながら、優柔不斷のお方かと存じます』

『左様である。あの様な愚圖遲鈍で、町奉行が勤まると思ふか。予も永く勤役して覺えがある』

『仰せの通りにございます。困つたお方で……』

『加賀爪は役に立たん。此上は誰か外に人物はないか』

『左様でございますな。水野十郎左衛門様は如何』

『オ、能く申した。あれなら白柄組の頭領。押しも利かうし、睨みも利くと申すものだ。早速水野を呼んで參れ』

用人源太左衛門も、斯うは言つたものゝ、噂に聞く所では、小島三平の後見には久米の平内が附いてゐる。夫許りか深見重左衛門といふ大物もゐるといふ。水野十郎左衛門で巧く行くかと、二の足を踏んだが、朝晩責められてゐるので、何とか息抜きをしたいと思つた。

四谷大番町の水野の邸へ行つて面會を申込むと、十郎左衛門早速會つて呉れた。

『オ、青山の用人か、今日は何用あつて參つた』

『ハツ、御前には御別もなく、御健勝の體にて祝着』

『ウンニャ紋切形の挨拶は、何うでも可い、用事を申せ』

例の荒武者、氣が短い。

『エ、實は手前主人近頃、謀叛人高坂甚内餘類の事にて、町奉行勤役當時を思ひ、酒井伏幡守様へ直々又は人を以て……』

『ア、判つた〱。あの一件か、あれは青山が落度で、當時見逃し居つたも同然ではないか。況して其一人菊と申す娘を、奴奉公人として自邸に置いた。あれが良くなかつたな。予も町奉行退役當時、祝ひの宴席に招かれたが、其方は知るまいが、前の公用人相川忠太夫が存じて居る。予も一目見たが、菊は美しい婦人であつたぞ。あの折青山主膳の女嫌ひは確に餘りであると思つた……右も左、青山はあの一件に嘴を容るゝなと水野が申したと言へ』

『ハツ、御道理にはございますが、既に餘類三人まで、町奉行のお手に吟味中にもございますれば、何とか御前のお骨折りにて、一刻も早く此儀……』

『コレ〱何を申す、其事は予も内聞きを致したが、近頃に口出しはならぬ……』と申すは、あの深見重左衛門が、毎日の如く鐵の棒を引つ提げ、唐犬族に押るお八重と申す女の立會をして居るといふではないか』

十一月廿七日　舊十月十一日　丁酉　先勝　開　危宿

●一白の人　急ぎて物事を過たんより靜かに進むが宜し　乙と丙と寅が吉

●二黒の人　萬事意の如く開發する日旅行普請縁組等吉　甲と乙と庚が吉

●三碧の人　穩かに進めば自ら展開する日病厄盗難注意　乙と壬と寅が吉

●四緑の人　氣運優勢にして計畫大に達成を見るべき日　丙と癸と寅が吉

●五黄の人　運勢佳なるも一氣に成功を急がざるがよし　甲・卯と乙が吉

●六白の人　進退懸引の自由を失はると日常業を勵み吉　甲と乙と未が吉

●七赤の人　遲々として物事進まぬ日焦れば更に凶なり　乙と未と庚が吉

●八白の人　迷ひを捨て怠らず精勵せば功果大に擧がる　卯と乙と庚が吉

●九紫の人　順調にはゆれども見込違ひの損するの日　丁と壬と寅が吉

品名	種類	一個小賣正價
クラブチツク	新大	五十五錢
クラブチツク	新中	三十五錢
クラブ美身液		三十五錢
カテイフード	大瓶	四十五錢
カテイフード	中瓶	三十錢
クラブ固煉白粉	特瓶大	五十五錢
クラブ固煉白粉	中瓶	五十錢
クラブ衿白粉		四十錢
クラブ煉白粉	別形中瓶	三十八錢
クラブ煉白粉	小瓶	三十五錢
クラブ海綿用白粉		五十錢
クラブ藥用天瓜粉	中罐	四十錢
クラブ藥用天瓜粉	小罐	二十五錢
クラブほゝ紅	小罐	二十五錢
クラブつぼみ		三十錢
クラブ美の素	小罐	二十錢